

平成25年行政事業レビューシート (環境省)

事業名	J-VER制度を活用したCO2削減・復興支援・節電等緊急支援事業		担当部局	地球環境局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成23年度(3次補正)		担当課室	地球温暖化対策課市場メカニズム室		室長 熊倉 基之		
会計区分	一般会計		政策・施策名	1. 地球温暖化対策の推進 1-2 国内における温室効果ガスの排出抑制				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	地球温暖化対策の推進に関する法律第3条第2項		関係する計画、通知等	京都議定書目標達成計画 低炭素社会づくり行動計画				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	震災復興、全国的な電力需要ギャップの解消に向けて、節電・省エネ機器の導入に伴う排出削減量をオフセット・クレジット(J-VER)化し、復興・節電に向けた企業の投資インセンティブとすることに加え、J-VERを活用したカーボン・オフセットの取組推進により、効率的な排出削減事業の実施を図る。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	節電・省エネ機器の導入、震災復興等に地域資源を活用したエネルギー転換などを行うとする事業者のオフセット・クレジット(J-VER)認証、地球温暖化対策としてのカーボン・オフセット認証の支援を通じて、単なる外部からの助言では企業の投資を促すことが難しい、投資回収年数が中長期にわたる設備投資案件に対し、クレジットの創出・売却を通じ民間資金の還流を、復興に向けた当該企業の投資インセンティブとすることで、こうした案件を拡充する。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
		補正予算		400	-			
		繰越し等		△400	400			
		計		-	400			
	執行額		-	394				
	執行率(%)		-	98%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (25年度)
	カーボン・オフセット取組件数×1件あたりの平均オフセット量 (平均オフセット量は平成24年度データを利用する)		成果実績	t-CO2	-	-	59,424	-
			達成度	%	-	-	-	-
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	カーボン・オフセット取組件数		活動実績 (当初見込み)	計 (累計)	-	-	32	-
					(-)	(45)	(-)	
単位当たりコスト	12,312,500(円/件)		算出根拠	執行額(394百万円)÷当事業の取組件数(32件)				
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	-	-	-	-				
	計	-	-					

事業所管部局による点検							
	項目	評価	評価に関する説明				
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。	○	・カーボン・オフセットを行う事業者から、被災地や節電プロジェクト実施者へ直接クレジット資金が流れることから効率的な復興支援と節電の推進を行った。				
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○					
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。	○					
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○	・企画競争方式を行っており、支出先の選定における競争性、公平性が確保されている。				
	受益者との負担関係は妥当であるか。	○					
	単位当たりコストの水準は妥当か。	○					
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	○					
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○					
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-					
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	○	・被災地産オフセット・クレジット(J-VER)、カーボン・オフセットにより、被災地支援を行うことができた。				
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○					
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	○					
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	-					
	事業番号	類似事業名				所管府省・部局名	
点検結果	平成24年度限りの事業である						
外部有識者の所見							
点検対象外							
行政事業レビュー推進チームの所見							
-							
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況							
-							
備考							
関連する過去のレビューシートの事業番号							
	平成22年	-	平成23年	復興-011	平成24年	026	

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

環境省
394百万円

被災地産J-VER取得支援、普及啓発等
【内容】
・排出削減量の認証支援等
・カーボン・オフセット認証取得支援

企画競争
(随意契約)・委託

A. 三菱UFリサーチ&コンサルティング(株)
240百万円

【業務内容】
・被災地産J-VER等を活用したカーボン・オフセット案件等発掘
・被災地産J-VER等の活用を通じたカーボン・オフセットの取組活性化検討と実施

外注費

C. 民間企業(14機関)
101百万円

【業務内容】
・認証ラベル取得支援委託
・カーボン・ニュートラル委託経費
・シンポジウム開催委託等
・ビデオ作成

企画競争
(随意契約)・委託

B. (株)三菱総合研究所
154百万円

【業務内容】
・被災地ニーズを考慮した事業運営とプロジェクト案件発掘
・被災地創出J-VER等の販売促進
・被災地向け方法論改訂等に関する調査検討

外注費

D. 民間企業(18機関)
65百万円

【業務内容】
・モニタリング業務
・妥当性確認業務
・プロジェクト検証業務
・創出支援業務

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
行っているかについて
補足する)
(単位: 百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A.三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株)					
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	事務局運営	116			
外注費	支援委託費等	97			
その他		27			
計		240	計		0
B.株三菱総合研究所			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
外注費	支援委託費等	65			
人件費	事務局運営	55			
旅費		1			
その他		34			
計		154	計		0
C.株電通			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
外注費	カーボン・オフセットビデオ作成	28			
計		28	計		0
D.エム・アール・アイリサーチアソシエイツ(株)			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
外注費	プロジェクト創出支援業務	15			
計		15	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	三菱UFJリサーチ&コンサルティング㈱	カーボン・オフセット普及業務	240	企画競争	-

B

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	㈱三菱総合研究所	プロジェクト創出支援業務等	154	企画競争	-

C

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	㈱電通	カーボン・オフセットビデオ作成	28	-	-
2	日経BPコンサルティング	シンポジウム開催等	19	-	-
3	マイクライメイトジャパン㈱	認証ラベル取得支援委託経費	11	-	-
4	株式会社リサイクルワン	認証ラベル取得支援委託経費	9	-	-
5	三菱UFJリース㈱	認証ラベル取得支援委託経費	7	-	-
6	㈱アドバンテック	認証ラベル取得支援委託経費	6	-	-
7	イワヤ㈱	カーボン・ニュートラル委託経費	4	-	-
8	㈱ウェストボックス	認証ラベル取得支援委託経費	3	-	-
9	㈱e-プランニング	認証ラベル取得支援委託経費	2	-	-
10	グリーンブルー㈱	認証ラベル取得支援委託経費	1	-	-

D

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	エム・アール・アイリサーチアソシエイツ㈱	J-VERを活用した復興支援に係るプロジェクト支援事業支援業務	15	-	-
2	㈱パスコ中央省庁営業部	被災地産J-VER創出に係る事業者支援事業	14	-	-
3	カルビー㈱	J-VER東北支援クレジット販売	7	-	-
4	㈱リサイクルワン	被災地産J-VERの販売促進業務	6	-	-
5	(財)日本品質保証機構	モニタリング報告書の検証業務	2.6	-	-
6	(社)宮城県林業公社	排出量・削減量算定の為のモニタリング業務	2.5	-	-
7	(社)日本能率協会	モニタリング報告書の検証業務	2.3	-	-
8	SGSジャパン㈱	モニタリング報告書の検証業務	1.3	-	-
9	(社)日本能率協会	プロジェクト登録における要件類の妥当性確認業務	1.1	-	-
10	東武建設㈱	排出量・削減量算定の為のモニタリング業務	1	-	-